

●数行では表せない位、笑って泣いて引き込まれました。ありきたりな言葉になってしまいますが、本当に感動しました。世の中の“普通”の物差しから外れて苦しんでいる人、疎外感を感じている人に「この本読んでみなよ」と配り歩きたい気分です。(紀伊國屋書店 佐貫聡美さん)

●とりあえずおすすめの本は何かと聞かれたら、この本をすすめます。すべての方に読んでいただきたい一冊です。(天牛塚書店中もず店 五十嵐さん)●タイトルを見て買おうかどうか迷っているそこのあなた。迷っているぐらいなら、買って読んだほうがいいですよ。友達に読んでもらいたい本に、久し振りに出逢いました。(紀伊國屋書店玉川高島屋店 河井洋平さん)●一言でいえば「よかった」になるんでしょうけど、そんな言葉では表せない大きな大きな世界がここにありました。こ

全国の書店員さんが 大絶賛! 衝撃の実話

まずは本文の冒頭の10行を読んでみてください

のタイトルの本に、こんなに胸を打たれるとは思いませんでした(精文館書店中島新町店 久田かおりさん)●すごいすごいすごい小説を読んできました。一気に読み間違いなしの鳥肌小説。題名だけで判断してはいけない大傑作である。(大杉書店市川駅前本店 鈴木康之さん)●こだまさんに言葉があって、良かった。こだまさんの文章に出会えて、本当に良かった。(心斎橋アセス 磯上竜也さん)●タイトルと中身のギャップがすごい。心から読んで良かったと思いました。(紀伊國屋書店横浜店 川俣めぐみさん)●すごいものを読ませてもらいました。人間の強さと悲しみと生きていく上での業がすべて詰まった物語。これはいろんな人に読んでもらいたい物語だと思いました。(伊野尾書店 伊野尾宏之さん)●タイトルにひいてしまわず、どうか読んでほしい。私



ISBN978-4-594-07589-7

C0095 ¥1300E

扶桑社

定価: 本体1,300円+税

はこの本を読むことができ、良かった。(大垣書店イオンモール KYOTO店 辻香月さん)●「ふつう」というもののあやうさ、「自分自身と真正面から向き合う」ということのしんどさ、それでも生きていく、という潔さ、に心がふるえました。(I書店 Yさん)●相当な鳥肌小説でした。最後のページに行き着いたとき、日々軽々しく「希望」を口にする自分を恥じて涙が出ました。(鳥取県 女性書店員Oさん)●これほど考えさせられる本はなかなかないと思う。こだまさんの20年間のこの本を一人でも多くの人に読んでいただきたい。(浅野書店 大宮和子さん)●多くの悩みを抱え、傷つき、言いたいことの1%も言えないけれど、「夫のちんぼが入らない」と最後まで訴え続ける著者の力強さにただ、ただ、ひれ伏すだけです。(明屋書店伊加利店 圓尾芳樹さん)●「読んで良かった」自信を持って言えます!(水嶋書房枚方市駅店 松田さん)●すごい「もの」、「もの」としか言いようのない、ジャンル分け不能な何かを読んできました。(あゆみBooks仙台青葉通り店 二階堂さん)●どうかタイトルだけで中身を判断しないでください。この想いがたくさんの人に伝わりますように。(積文館書店八女店 徳永智華さん)